

(施策評価表55)

【施策番号IV-11-②-2】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦 略	【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 ～将来の州都をめざします～	主な施策	◆世界的な熊本駅をめざす ～熊本駅周辺地域の魅力向上～
			②ハブ機能の強化		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性	
<p>熊本の陸の玄関口である熊本駅周辺地域の魅力向上を図るため、熊本市と連携して、駅舎・駅前広場や、白川・坪井川に囲まれた石塘(いしども)、桜にあふれた万日山(まんにちやま)の整備を進めます。また、新幹線口(西口)一帯をはじめ、熊本駅周辺の景観向上に取り組めます。</p>	万日山公園維持	地域振興課	14,869	<ul style="list-style-type: none"> 産学官が連携した「くまもと都市戦略会議」の枠組みの中で、新たな賑わいの場としての石塘の環境整備や、観光客増加に向けた熊本駅新幹線口から北岡自然公園への散策ルートの整備を実施し、熊本駅周辺地域の魅力向上につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「くまもと都市戦略会議」ワーキングチームで、石塘などの活用に向けた地元の駅周辺活性化協議会(仮称)の設置の動向を注視するなど、これまでの取組みのフォローアップを行う。 H25年4月に都市公園として供用開始した万日山について、適正な維持管理を行う。 高架化工事を推進し、H25年度は熊本駅部の上り線ホーム上屋の組立てに着手する。また、熊本駅周辺整備にあたっては「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」を組織し、各事業者と市民・県民をつなぎ、きめ細やかなデザイン調整を行う取組みを含めて、駅周辺の景観について「国際的に見てもその質は高く評価される」として、本年度、都市景観大賞「都市空間部門」において最高賞の大賞(国土交通大臣賞)に選ばれた。 駅周辺開発の状況に応じて、景観に配慮した屋外広告物設置への支援を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利活用に合わせた地元の協議会設置など、整備した石塘等を様々なイベント等で活用しやすい状況にする必要がある。 万日山公園について、がけ崩れ等の災害発生時の早急な復旧等の対応が必要となる。 H26年度末に予定している熊本駅部上り線の高架切替に向けて、工程調整を図る。 熊本駅周辺地域については、民間による開発が活発化しているため、建物建設の前に、景観に配慮した屋外広告物設置への支援を進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本駅周辺地域の魅力が向上し、熊本駅から中心市街地に向けた賑わいが生まれている。そのため、H27年度に熊本駅の乗降客数920万人/年となるよう取り組んでいく。 都市公園として適正な維持管理が行われているよう取り組んでいく。 H26年度末に熊本駅部上り線の高架化工事が完了し、上り線ホーム及び上屋が供用されているよう取り組んでいく。 助成制度の周知を通じて、景観形成への理解が進み、景観に配慮した屋外広告物が設置されていくよう取り組んでいく。 	
	万日山公園整備事業		95,129					
	JR鹿児島本線等連続立体交差事業	都市計画課	20,885,136	<ul style="list-style-type: none"> H24年8月に万日山の山頂部の土地を取得し、公園として整備を行ったことにより広く県民に利用いただける施設になった。 				
	緑化景観対策事業 うち空港周辺等景観形成対策事業	都市計画課	4,855,312					
				2,000				<ul style="list-style-type: none"> 在来線熊本駅舎での県産材を最大限活用するための検討を行い、熊本駅舎ホーム上屋で県産材を約4割調達することを決定したことで、森林資源の循環利用及び地場産業の活性化の期待感が増大した。 熊本駅周辺の屋外広告物に関し、関係事業者に広告物等の改修等に対する助成制度の利用を働きかけることにより、景観向上への意識の醸成が図られた。 新幹線口の景観向上の取組みとして、マンション建設予定者と面談し、景観維持への協力依頼と「くまもと緑・景観協働機構」の助成制度を周知した。面談した3社の建設予定者からは、マンションの高さ、形状、色調など景観への配慮と、うち1社については機構の沿道緑化モデル助成事業を活用し、緑化が図られた。
				651				
				<ul style="list-style-type: none"> 新たな賑わいの場としての石塘の環境整備や、観光客増加に向けた熊本駅新幹線口から北岡自然公園への散策ルートの整備を実施。また、熊本駅周辺の屋外広告物に関し、関係事業者に広告物等の改修等に対する助成制度利用を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 「くまもと都市戦略会議」ワーキングチームで、これまでの取組みのフォローアップを実施。また、駅周辺開発の状況に応じて、景観に配慮した屋外広告物設置への支援を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本駅周辺の整備箇所を様々なイベント等で活用しやすい状況にする取組み。 民間による開発の際の景観に配慮した屋外広告物設置の誘導の促進。 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本駅乗降客数が920万人/年となるよう取り組み、魅力向上した熊本駅から中心市街地に向けた賑わい作りを促進。 屋外広告物設置助成制度の周知を通じ、景観に配慮した屋外広告物の設置を推進。 	
		主な施策のまとめ						